

#### 調査4 景気が改善あるいは悪化している要因についての主な意見

- 材料費の値上げ(ロッドベアリング製造販売)
- 先行き不透明ゆえにリフォーム等にお金を回すことよりも、日用品に回っているため。(畳店)
- 公共工事の減少(製造業等、同意見4件)
- 技術開発力の相対的低下。供給資金不足。(電子機器製造)
- 金融機関の貸し渋り(電子部品製造)
- 競争激化。発注単価の低下。(電気工事業等、同意見4件)
- 政府の政策転換、及び自己努力不足。(建設業)
- 公共工事縮小政策による工事絶対量の減少、それによる単価の低下、採算の悪化。(土木建築業)
- 設備投資の渋り。(電気設備保守業)
- 高齢化・就業人口が減っているため需要が下がっている。(不動産業)
- デフレ・先行き不安(賃貸管理業等、同意見2件)
- 国も中小零細企業、個人(一般)も負債で行き詰まり現象。一般国民の目線から納得の改革が求められる。(電気設備保安管理業)
- 景気が悪い為、お年寄り、子供等が安いところへ流されるようになった。家で髪を刈る人が増えた。(理容業)
- 電子書籍の影響。(古本販売業)
- ブーム及び主要顧客である女性の増加が期待される。(サービス業)
- 長引く景気低迷により雇用環境の悪化。(人材派遣業)
- 1,000円カット等法外な営業形態が増え、ユーザーの価値観の変化が問題。(美容業)
- 新しいサービスの提供により新規客の増加。(サービス業)
- 売価を低く設定したために売上が減少。(消耗品製造販売)
- 仕事依頼の減少。(地質調査業)
- 市場の縮小と景気悪化。(保険業)
- 宣伝・技術不足。(美容業)
- 物質・売上至上主義から生活そのものを落ち着かせる事が良い。競争が今まで行き過ぎていたのではないか。(美容業)
- 主要顧客の外注政策の変化。(情報処理サービス業)
- 政治の不安定。(ビルメンテナンス業)
- 少子高齢化の買替需要の減少。インターネット販売等による値崩れ。(ガス機器設備販売業)
- 自動車・パチンコ等の生産量縮小によるユーザー工場稼働率の低下。ただし中国日系ユーザーは好調(卸売業)
- 節約志向。(飲食業2件)
- 店内の環境改善、ロコミによる入店客の増加。(飲食店)
- エコカー補助金の恩恵を受けたこと、併せてハイブリット車に対する注目が高まり好調な状況だった。(自動車販売業)
- 夏の異常気象、高温による作況悪化。農家より直送販売の拡大、インターネット販売、スーパー安売りが影響している。(米穀小売業)
- 後進国の安い賃金と労働で価格の安い製品が先進国に入り、物価が下がり、若年層の失業と少子高齢化で将来に希望がない。高額商品は売れない。(楽器販売業)
- 飲食店の売上減少。(酒類販売業)
- デフレ傾向・百貨店からの客離れ(百貨店業)
- 規制緩和と大型店法の廃止が悪化の要因との見方がある。買物難民ばかり(コンビニ業)
- 産業及び経済の構造問題。景気・不景気の範疇では乗り越えることはできない。
- 将来の不安感から低価格志向が増している。(造園業)